

要 旨

試験委託者

環境省

表 題スチレンオキシドのオオミジンコ(*Daphnia magna*)に対する急性遊泳阻害試験試験番号

JCL028105

試験方法

OECD 化学品テストガイドライン No.202 「ミジンコ類, 急性遊泳阻害試験および繁殖試験」 (1984年) に準拠。

ただし, 2002年度にテストガイドラインが改訂され近々公表される事になっている。

本試験は改訂版の内容を一部取り入れた。

- 1)被験物質: スチレンオキシド
- 2)実験方式: 半止水式 (24時間後に試験液の全量を交換)
- 3)供試生物: オオミジンコ(*Daphnia magna*)
- 4)実験期間: 48時間
- 5)試験濃度 (設定値):
対照区, 0.021, 0.045, 0.100, 0.220, 0.480, 1.060, 2.340, 5.152, 11.340 mg/L
公比; 2.2
- 6)試験液量: 100 mL/容器
- 7)連数: 4容器/試験区
- 8)供試生物数: 20頭/試験区 (5頭/容器)
- 9)試験温度: 20±1 °C
- 10)照明: 室内光、16時間明/8時間暗
- 11)分析法: HPLC法

結 果

1)試験液中の被験物質濃度

実験開始時における試験液中の被験物質濃度は設定値の95.2～106.7%であった。24時間換水前は揮発および加水分解により設定値の60.0～73.3%に低下していた。また、下記の算出には測定値の幾何平均値を用いた。

2)24時間後の結果

半数遊泳阻害濃度(EiC50) :	>9.237 mg/L
最大無作用濃度 :	0.188 mg/L
100%阻害最低濃度 :	>9.237 mg/L

3)48時間後の結果

半数遊泳阻害濃度(EiC50) :	1.915 mg/L (95%信頼区間 : 1.132～3.835 mg/L)
最大無作用濃度 :	0.040 mg/L
100%阻害最低濃度 :	>9.237 mg/L